

中世の粟生田を探る



歴史民俗資料館
藤野一之

講座の内容

1 史料に記された「栗生田」

2 中世の浅羽氏の活躍

3 中世の栗生田氏について

まとめ

1 史料に記された「粟生田」

- 地名の由来

粟生(あわい)：畑地の意味か？

- 「西大寺所領莊園注文案」

建久二年(1191)

大伴部直赤男が神護景雲三年(769)、奈良県西大寺に田40町、林60町を寄進した場所。

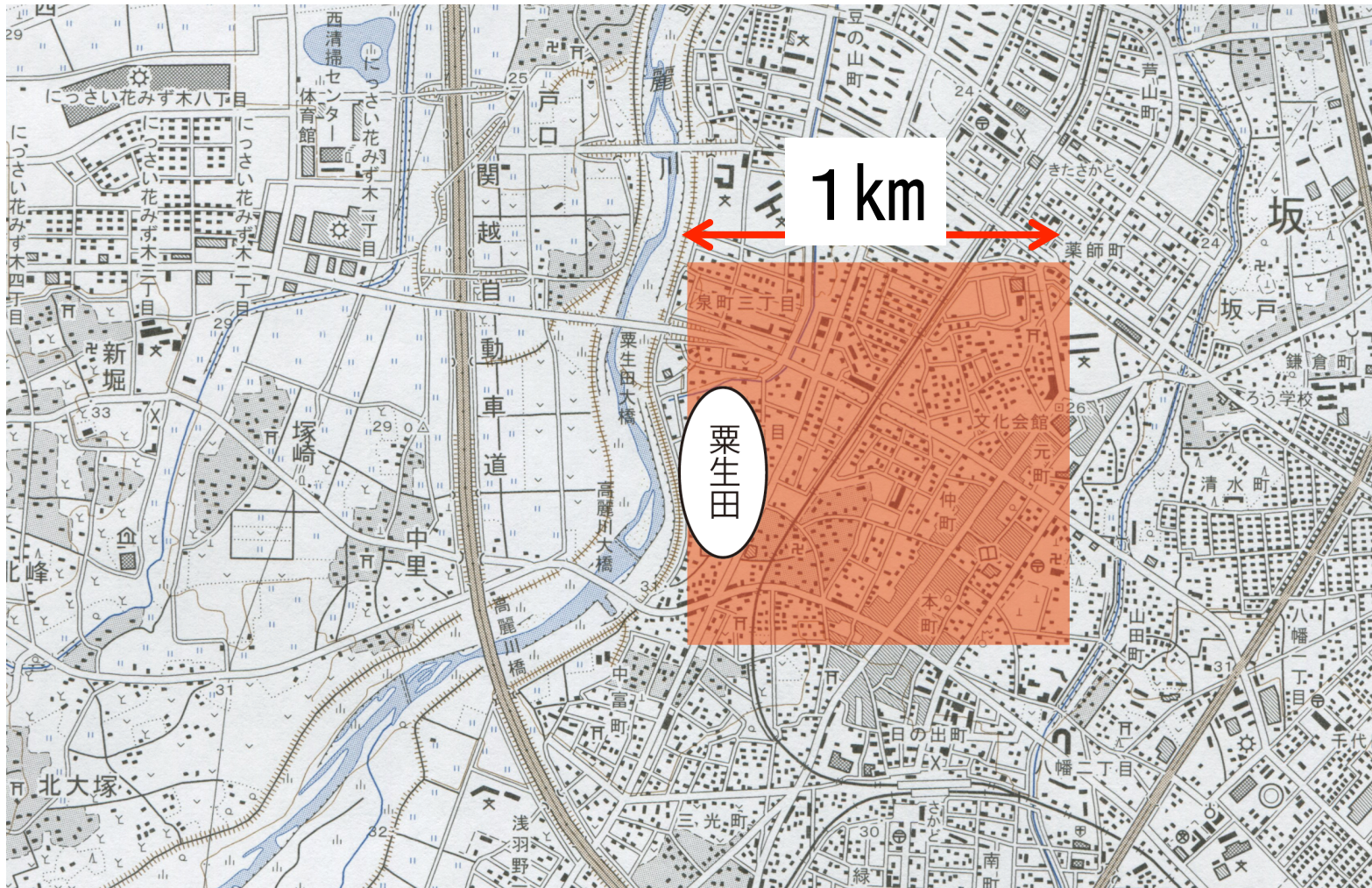
武蔵国入間郡安堵郷栗生田

「栗」は「栗」の誤記とすると、
「栗生田」は「栗生田」のこと
か？



田林100町＝約100ヘクタール
＝東京ドーム21個分

その範囲を寄付できるほど、広大な土地を治めていた。



●「日光市輪王寺所蔵大般若經第238卷」
応永三年(1396)

「入西郡栗生田上村 賢海」
→栗生田上村において、賢海が大般若經を書
写した。

●「武州入間郡越生郷松溪山報恩寺年譜」
長享三年(1489)

「…武州入西郡栗生田内報恩寺領事…」

●土屋神社蔵鰐口(大蔵院旧蔵)

永正十年(1513)

「武州入西郡栗生田上村七所宮常住鰐口

永正十年癸酉十月十五日」

七所宮：栗生田山王にあった山王社のこと。

「山王」の地名は、かつて泉町・中富町にあったが、現在では所在地不明。



長らく所在不明となっていたが、近年、土屋神社に所蔵されていることが判明。

2 中世の浅羽氏の活躍

●浅羽氏について

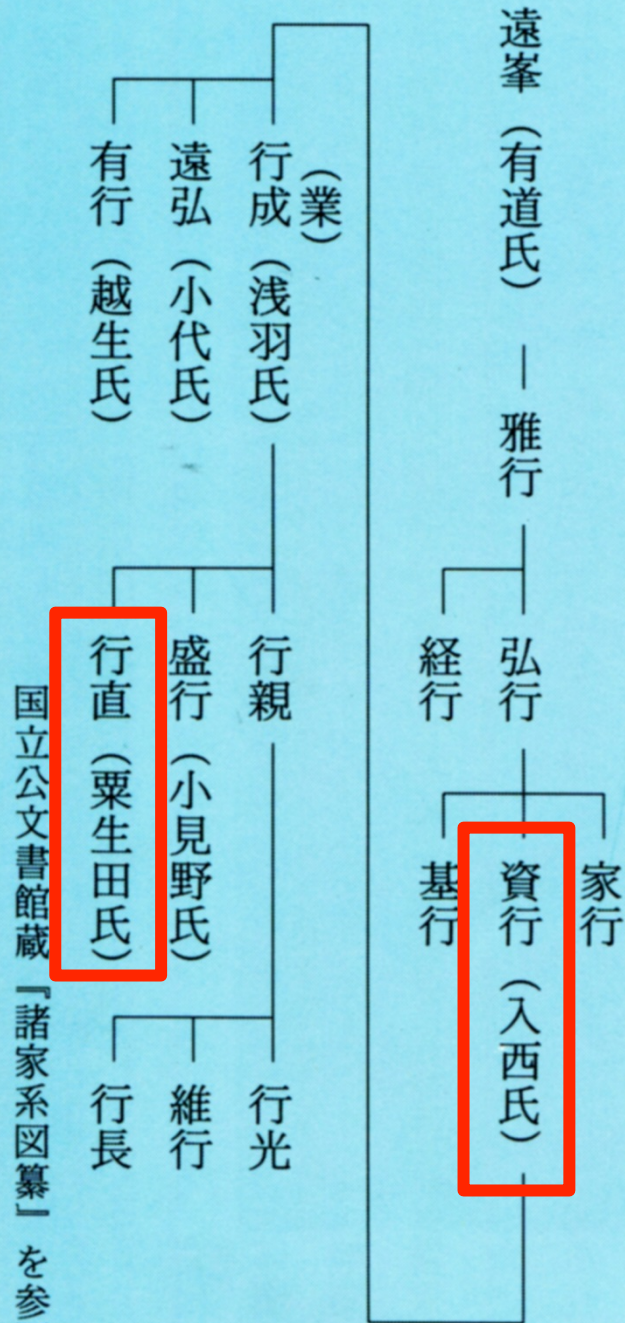
12世紀初頭、各地で武士団(武蔵七党等)が成立。

坂戸市内では、村山党の勝氏、児玉党の浅羽氏、堀込氏、長岡氏、大河原氏、栗生田氏などが活躍。

12世紀初頭、入西資行が有道氏の所領であった入西へ移住。

資行の子孫は、浅羽氏、小代氏、越生氏、小見野氏、栗生田氏の各氏に分かれる。

浅羽氏略系図



通称・実名	年 月 日	西暦	行 動 の 内 容
小三郎 行 光	文治 3. 8.15	1187	鶴岡八幡宮の流鏑馬に参加
五 郎 行 長	文治 5. 7.19	1189	頼朝の奥州征伐に随陣
五 郎	建久 1.11. 7	1190	頼朝の上洛に供奉
小三郎	建久 1.11. 7	1190	頼朝の上洛に供奉
三 郎	建久 6. 3.10	1195	頼朝の東大寺供養に供奉
左衛門 四 郎	寛元 2. 8.16	1244	鶴岡八幡宮の馬場の儀に参加
次 郎 兵 衛 尉	建長 2. 1. 3	1250	圀飯の儀に参加
浅 羽 人 々	建長 2. 3. 1	1250	閑院殿造宮に築地一本を負担
左衛門尉 次郎	建長 3. 1. 2	1251	圀飯の儀に参加
左衛門 二 郎	文応 1. 4. 3	1260	将軍家出御に供奉
三郎 太 郎 兼 直	弘安 8.11.17	1285	霜月騒動に得宗に従い功あり
三郎 太 郎 兼 直	正応 6. 4.12	1293	平禅門の乱に得宗に従い功あり
大炊助 重 直	〃	〃	〃
彦五郎 俊 家	〃	〃	〃
左近 将 監 氏 盛	〃	〃	平禅門に従い敗れて自害
比丘慧見 等	徳治 2. 4.15	1307	浅羽行成供養の板碑を造立
三郎 左 衛 門 尉	徳治 2. 5	1307	円覚寺大斎結番を命ぜられる
左衛門三郎俊光	正和 3. 1.15	1314	弓始めの儀に参加
左衛門三郎俊光	正和 4. 1.15	1315	弓始めの儀に参加
左衛門三郎俊光	正和 5. 1.15	1316	弓始めの儀に参加
左衛門三郎俊光	正和 6. 1.15	1317	弓始めの儀に参加

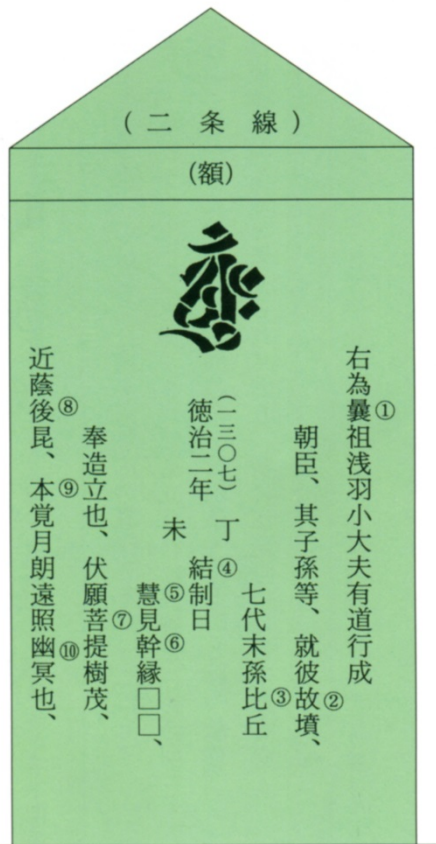
「吾妻鏡」によると、浅羽氏は鎌倉幕府の御家人として、源頼朝と関係が深い。

鎌倉時代後期には、北条氏の嫡流の御内人(けらい)。

15世紀以降の動向は不鮮明。

●浅羽氏ゆかりの寺「万福寺」





徳治二年(1307)

浅羽氏の祖、行成
を供養するため、
また一族の結束を
深めるために造立。

主尊は胎蔵界大日
如来

浅羽氏と真言宗は
密接な関係。

埼玉県指定文化財
胎蔵界大日一尊板碑

3 中世の栗生田氏について

●栗生田氏の動向

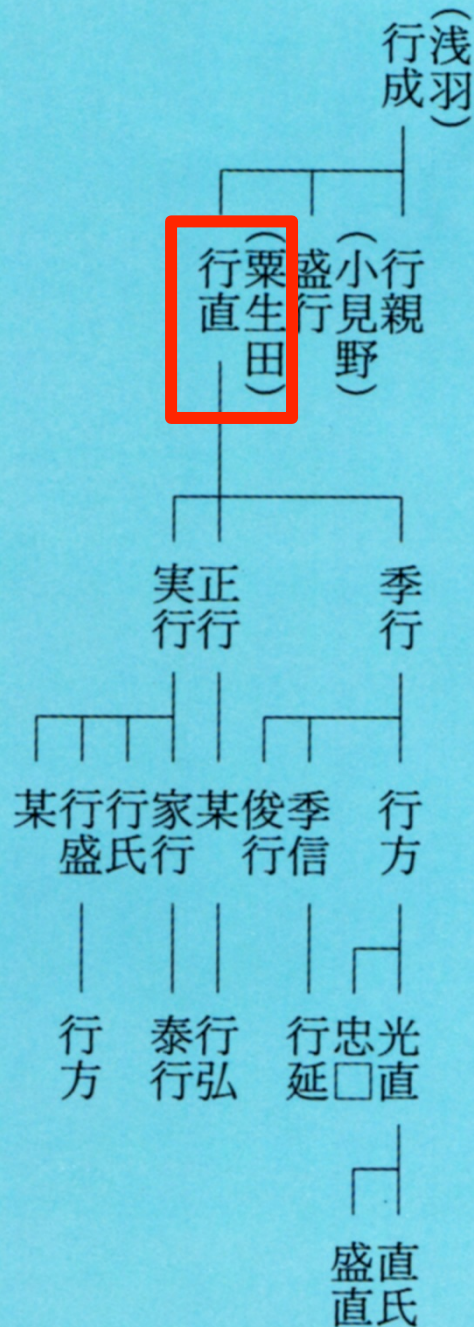
栗生田氏の祖、行直は浅羽行成の子。

行直の甥にあたる浅羽行長は、文治五年(1189)に源頼朝の奥州征伐に随行。

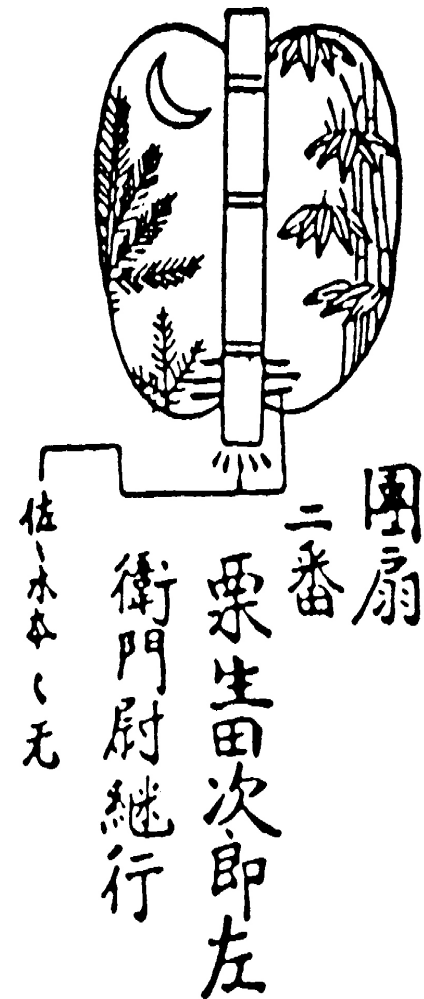
栗生田行直は、12世紀中頃には栗生田の地に移住か。

栗生田氏に関する史料は少ない。

栗生田氏略系図



栗生田氏の一派は、
14世紀に播磨国
(兵庫県)に所領を得
る。



栗生田氏の家紋
軍配団扇
松竹、月模様

● 栗生田氏と青蓮寺



青蓮寺は、真言宗で越生町報恩寺の末寺。
栗生田氏も真言宗との関係が深い？
寺内には、板碑が現存し、年号の分かる
ものはすべて14世紀代。



まとめ

- ①「栗生田」という地名は12世紀には存在
- ②栗生田氏と関係が深い浅羽氏は、鎌倉幕府の御家人となり、室町時代まで活躍
- ③栗生田氏の祖、行直は12世紀中頃には栗生田の地に移住か
- ④14世紀、栗生田氏の一派は、播磨国に所領を得ていた。
- ⑤浅羽氏、栗生田氏とも真言宗と関係が深い